

新川厚生センター運営協議会 概要

日 時：令和7年10月3日（金）14:00～15:15

場 所：黒部市国際文化センター コラーレ マルチホール

出席者：委員25名中23名出席

1 開 会

2 あいさつ 富山県厚生部理事 式庄 寿人

3 協議事項

（1）新川厚生センター事業概要（令和6年度実績）について

（2）最近の食中毒発生状況について

（3）その他

4 閉 会

【質疑応答の概要】

（委 員）

質問と言うよりは提案になるが、厚生センターの方でたくさんの研修会や説明会等を開催されている。そういった催しがあるのであれば、黒部市にも公式LINE等の広報手段があるので、一般的に広く市民に知ってもらいたい事案があれば、市の広報を活用し、周知を図ることも検討されたら良いと考える。

（事務局）

コロナ禍での感染予防に関する普及啓発については、管内各市町の広報でもご協力をいただいていたところである。今後も積極的に各種事業の広報について、ご協力いただきながら進めていきたいと考えている。

（委 員）

コロナ禍が明けて、また新しい局面で人口が減少していくなかでいろいろなご苦労があると思う。報告いただいた(令和6年度事業実績の)データを元に(各種事業に)取り組んでいけたら良いと思う。

食中毒については、気を付けていてもなかなかゼロにすることは難しいと考えるが、クドアについても、昔はあまり知られていなかったものがどんどん周知されるようになったことによって、報告が増えているというのもあると考えられる。病院としても、今後も食中毒の普及啓発に取り組んでいきたいと考えている。

（委 員）

事務局からのお話にもあったが、魚津市医師会としては在宅医療に力を入れており、医療・介護・福祉・保健、すべての分野の方々、特に本日は歯科医師会の先生方もお見えになっており、先日魚津市で開催された市民公開講座でも触れられた高齢者の方のオーラ

ルフレイル予防について、様々なメディアでも取り上げられている。市町各地域においてさらなる取り組みを進め、介護予防・健康寿命の延伸につなげるべく、歯科医師の先生方にも是非ご参加いただき、地域住民の方に対する普及啓発にご協力をいただければと考えている。

(事務局)

地域住民の方に市町の公民館等にお集まりいただき、オーラルフレイルも含めたフレイル予防について説明させていただく機会を設けている。管内では特に在宅や施設における要介護の方々のオーラルフレイルに問題が無いかを適切に評価できるよう、ここ数年は継続的に研修を行ってきている。必要であれば、口腔機能の専門家である歯科の方へ繋ぐという取り組みを継続的に実施していきたいと考えている。

(委 員)

コロナが5類移行されてから、お客様方の交流人口も増加しており、それに伴い感染症並びに食中毒も増加してきている。HACCP の考え方に基づき、食品衛生に徹底して取り組んでいきたいと考えている。

最近、宇奈月温泉では猿の数が大変に増えてきており、それによる糞害が問題になってきている。水道水以外に湧き水を利用している店舗等もあるため、糞害による水質汚染について懸念している。現在、温泉街では特に観光のお客様がよく利用される「やまびこ遊歩道」でも猿の移動による糞が増えており、清掃員1名が配置され毎日清掃している一方で、遊歩道以外の場所では汚染物が増加している実態がある。何とか猿の駆除をお願いできたらいいなと思っている。

(委 員)

いつも新川厚生センターや黒部市民病院では、様々な研修会が開催されており、県薬剤師会も共催と言う形で、地域の薬剤師の研鑽のために研修会を開催してもらっており、感謝している。